



「春一番」

雨水＝降る雪が雨に変わり、田畑を潤す時季とある
三寒四温を繰返し季節が進む。昨日は強い北風に首を竦め歩いたが、今日のポカポカ陽気に誘われて三浦海岸の河津桜の観桜と小さな春を見つけに出掛ける。

駅前の桜は満開で、観光客相手の出店には、三浦の地の物を求める人で賑わっている。

駅近の日本料理店で、春の魚 サヨリの刺身を肴に杯を傾ける。このランチを楽しむのがここ数年来の我家の恒例行事になっている。

京急沿線の桜並木は雲一つなく青く澄みきった空と、桜のピンクその木の下で黄色い菜の花は、いつもながらの景観である。行程の中程にある小松が池に出会う、池畔には弁当を広げビールを片手に焼鳥串を頬張り春の一日を楽しむ人人・・・等々。池の一角に『カワセミ』の飛来ポイントがあり、多くのカメラマンがシャッターチャンスを狙う姿がこの2～3年前は多く見受けられたが、今日はその姿が無い、そこに名も知らぬ「黒い鳥」が一羽、池面を狙ってか首だけを左右に動かしている。しばし静観するも飛び去る気配はない。カワセミのとまり木のあったあたりを観察するも動く物は風にそよぐ小枝と枯れた葦だけであった。（我家の梅の木の花も満開となり、その蜜を狙ったメジロも本年はめっきりその数が減った）

コースは多少のアップ・ダウンはある物のキツイと言う事は無く、1時間ちょっとの春に格好の散歩コースである。

例年、春野菜の大根やキャベツ等を土産にするが、重いので今年はヤメタ・・・。

帰宅までに1万歩強を歩き太股に重さを感じ、しばし呆然とテレビを見ながら体を休める。来年は・・・？

‘23.3.4 元喜

